いつかの「もしも」に備えよう！

商学部ゼミ制作防災袋「AirPost」

地震、土砂崩れ、洪水……。災害がいつ自分の身に降りかかるかわからないと理解してはいても、普段から食料や水を用意し災害に備えている人は少ないのではないだろうか。もしものときに多くの命を救いたいという思いから、商学部田村ゼミナール（田村ゼミ）の学生11名が防災袋を開発した。

開発にあたっての苦労、完成した製品に込めた思いはどのようなものなのか。田村ゼミの池田聖（さと）さん、宮本哲也さん、横尾裕貴さん（いずれも4年）にお話を伺った。

防災袋「AirPost」＝田村ゼミ提供

防災袋「Air Post」は「おしゃれ、コンパクト、手放せないこと」をコンセプトにして制作された。カバン専門店「ichimaruni」（大阪市北区）と連携し、丈夫で軽く、またおしゃれな帆布を用いて作られている。

田村ゼミの研究内容は流通マーケティング。どのようなデザイン、価格にすれば商品が売れるのか、誰に向けて売るのかという製品販売までの道のりを考える分野だ。今回、本学広報部から「大学の新しいグッズを制作してほしい」という依頼を受け、大学と共同で開発した。ペンケースやパソコンバッグなどを制作する案も出たが、本学が防災事業に力を入れていることを知り防災袋に決定したという。

制作にあたり、本学学生に対してアンケートを行った。その調査を通して学生の防災意識が低いこと、防災袋を持っている学生が少ないことが判明した。

その後もアンケートを重ね、学生に買ってもらうためには値段を抑え、かつ部屋に置いておける大きさやおしゃれな見た目が必要だと実感。完成したAir Post はリュック型から箱型に変形でき、インテリアとしても部屋に置きやすい。また、色も豊富で6色から選ぶことができる。さらに、市販の防災袋の相場は約1万4000円だがAir Postは9980円と学生でも比較的購入しやすい。

落ち着いた色合いが魅力の全６色＝田村ゼミ提供

防災袋の中身は水や食料、手製の市大生向け避難マニュアルなど。既存の防災袋の中身を調べ、コストや重さなどを考慮しながら厳選した。田村ゼミは昨年9月に熊本を訪れ、熊本大学の防災を研究するゼミの学生や熊本学園大学の学生、防災士の方などのお話を伺った。Air Post の中身はそこで聞いた災害の体験談を参考に厳選しており、災害時に家から

持ち出し、避難所に物資が届くまでの約二日間を生き延びるための必要最小限のものだ。防災袋には余裕があるので、さらに必要なものがあれば自分で入れることもできる。

2017 年春から一年間、長丁場の企画には苦労も絶えない。特に、日経 BP 主催の西日本インカレに向けての準備も同時に進めなくてはならず大変だったという。しかしその苦労もあり、Air Post を取り上げたそのインカレでは、審査員特別賞を受賞している。

池田さんは「家の目につくところに置いておくだけでも防災意識を高めることができます。場所をとるものでもないのでぜひ購入して、万が一の事態に備えてほしい」と語った。

箱型からリュック型への変形の手順＝田村ゼミ提供

文責
行田美希（Hijicho）

マダム鳥子のピーチクパーチクうるさいわね!

～今日も悩める雛鳥たちから～ Vol.11

知り合いが留年したり、３浪が決定したりと様々なことがあった春なのですが、そういう人たちにはどういう言葉をかけてあげればよいでしょうか　（疫病神）

あら、今回はとても現実を考えさせられる質問ね。恐らくあなたもなかなか悩んだ末に質問したんじゃないかしら。そうね、確かにどういう言葉をかけるかは迷うところだと思うわよ。いじるにもいじりにくいし、だからといって、あえてその話題に触れないというのもどうなのってところかしら。

よく言われることなのだけど、浪人は努力した結果。でも留学や病気などのやむを得ない事情があってのものは別として、留年は遊びまくって努力しなかった結果として捉えられるのよ。だからあなたの３浪の決まった知り合いには、応援のメッセージを送ってあげればいいと思うわ。だ・け・ど、留年の決まった知り合いにはとりあえず活を入れた方がいいでしょうね。留年の決まった本人が一番分かっていると思うけれど、本当に反省すべきことよ、それは。もし、留年の決まった人がどういう言葉をかけてほしいか本当に知りたいのなら、あなたも留年してみたら分かると思うわよ。なんて、さらっと言ってしまったけれど、冗談よ。あなたは留年しないで頂戴ね。

さあ、ある程度はアドバイスしたのだから、あとはあなた次第よ。分かったら声をかけに行ってあげなさい。

文責　マダム鳥子

もう２回生なのに南食堂と北食堂の区別がつきません。助けてください。（結）

私たち「フレンドリーヨンシャ」

四者連絡協議会に迫る

「ヨンシャキョウ」「ヨンシャ」。新入生には馴染みが無く、課外活動に参加する人にとっては馴染み深い響きであろう。正式には「四者連絡協議会」との名前を持つ彼らだが、なぜ彼らが存在するのか、一体どんな活動をしているのか、詳しく知っている人は少ないのではないか。2018 年度四者連絡協議会（四者協）執行部の 4 人にお話を伺った。

四者連絡協議会執行部（左から）
音楽系サークル協議会委員長　吉田ひとみ（経・3 年・Music Research Club）
体育会幹事長　小川聖樹（経・3 年・軟式野球部）
応援団団長　森翔一（商・4 年・応援団）
文化系サークル連合委員長　日向陽太郎（理・3 年・HRDP、映画研究会）

――四者協とはそもそもどのような団体なのですか。

日向（文サ委員長）　市大には体育会・音楽系サークル協議会・文化系サークル連合・応援団の四つの団体が存在しています。これら四つの団体が四者協という一つの大きな団体になり、予算や加盟団体の意見・要望を大学と交渉しています。私たち四者協執行部が中心となり、活動しています。

吉田（音サ委員長）　具体的には、四者間における予算配分の決定や新入生勧誘活動の取り仕切り、学生支援課からの連絡を各団体に伝えることなどを行っています。

森（応援団団長）　また、大阪市立大学新聞 Hijicho さんと協力して BOX（部室）の管理も行っていますね。

――「大学と交渉する」とありましたが、学生支援課とはどのような関係性なのですか。

森　年度によって大きく違うな……。

吉田　この 4 人でも違うし。

――そうなんですか。

森　四者協といってもあくまで 4 団体の代表なので、それぞれが考える距離感で活動しています。

小川体育会幹事長＝3 月 18 日、中村伸二撮影

――なぜ四者協は存在しているのですか。

小川（体育会幹事長）　例えば新歓活動などを大学が取り仕切ることも可能ですが、大学主導で行うと「問題が起こらない」ことが最優先となり、規制ばかりになってしまうと思います。それを四者協が学生の意見を反映するために活動することで、学生主体のアクティブな新歓にしていくことができます。

吉田　さらに言うと、新歓などは大学にとって「なくてもいいもの」だともいえます。それを学生がやらせてもらっている以上、学生が中心となって運営していくのは当然のことだと思っています。

日向　つまりは課外活動という僕たちが「自発的にやりたいと言っていること」を、学生支援課と連携をとり、協力してもらいながら、学生が主体的に行っていくために存在しています。

――四者協に所属するメリットはあるのですか。

森　支援課の説明では現在、全学生のうち約 6 割が課外団体に所属しています。そのうち半分以上が四者協所属なので、おおよそ 3 割から 4 割ほどの学生が四者協に所属しているといえます。市大最大規模の団体に所属することによって、大学へ意見があるときに一つの団体としての力を超えた影響力を持つことができます。

吉田　また、予算面でのメリットは大きいと思います。年々大学からのサークル援助金は減少していますが、代わりに教育後援会（保護者団体）からの援助金が新たに設立されるなど、トータルとして予算は増加傾向にあります。予算の配当を受けることで、活動がしやすくなります。

日向　物品の援助なども可能な範囲で行っています。

小川　輪転機が使用できることもですね。ビラ印刷には有利だと思います。体育会の輪転機のインクが無くなったときに文サに借りるなど、四者間の助け合いがあるのも利点です。

――ビラといえば、18 年度の新歓では花道廃止の代わりとして各団体が大量のビラを印刷し、四者協に提出する必要がありました。

吉田　そもそも花道を廃止した理由は、新入生にとって整理されていないビラをどんどん渡されるのは大変、花道が怖い、ゴミになるという意見を反映したからです。

森　ぐしゃぐしゃになった沢山のビラは読む気が無くなりますよね。そのため冊子にすることによって綺麗な状態のビラを新入生に読んでもらおうという試みでした。反省点はありますが、この方向性は間違っていなかったと考えています。来年以降のことは分かりませんが、恐らく花道が復活することは無いと思います。

吉田　ただ冊子作製の労力が凄かったので来年度はやり方を考えてほしいですね。

――輪転機を使用できない四者協非加盟団体は印刷が困難だったのではないでしょうか。

吉田　それは無理に提出しなくてよいとしか……。

森　四者協に所属していないデメリットだとしかいえないですね。

日向　SFT（STUDY FOR TWO）さんが今春から文サに所属することになったのですが、このように新しく四者協に加入することもできるので、気になる団体の方は問い合わせてほしいです。

吉田　ぜひ入ってください！！

吉田音楽系サークル協議会委員長

――四者協には課題とする点はありますか。

吉田　これまでの四者協は、支援課から言われたことをそのまま学生に発信する、といった仕事が中心となっていましたが、先ほど言ったように本来は学生の意見を大学に要望するために四者協は存在しています。大学との折衝権を持っているのは四者協とまつり（大学祭実行委員会）だけなので、この権利を大切にしていきたいですね。

森　四者協は四つの団体の代表の集まりで意見は違うこともあると言いましたが、この点は私たちが一致している重要な考えです。全学生を背に、大学と話す。

小川　もちろん喧嘩するのではなく、建設的な話し合いをしていくつもりです。

――「大学」とは学生支援課のことですか？

日向　そうなのですが、むしろ支援課には同じ向きになってもらいたいと考えています（笑）。実際に、

支援課の職員には学生の意見に耳を傾けてくれる人が多いんです。ただ支援課も上層部の決定との板挟みになっていて、どうしても難しい部分があるんだと思うんです。

森　支援課はいつの世代にも「君たち（学生）の味方だからね」と言ってくれているので、私たちはその言葉を信じています。

日向　僕たち学生はどんなに意見を言っても 4 年が経てば卒業していくわけで、長期的な話し合いに向いていないのかもしれません。先輩たちが言われていたことと僕たちが言われることにズレが生じないように、四者協での引き継ぎや大学との制約などをしっかりとしなければ、と思っています。

森応援団団長

――四者協が考える市大の課題はありますか。

森　自転車撤去問題は課題かなと思います。撤去する事務員の存在は必要だと思いますが、わざわざ嫌がらせのような撤去方法をとることには疑問があります。この問題に対しては、事務員の廃止運動ではなく、学生の自転車マナーの向上を働きかけていきたいです。ただこの問題は四者協というよりは、学生全体の課題として取り組みたいですね。

日向　また、自転車登録料金の 1000 円についても用途が不透明なので困惑しています。用途が分からないのであれば、500 円にも 1500 円にもできるじゃないですか。そんなものにお金を払いたくないという学生の気持ちを理解してほしいですね。

吉田　0 円にしてほしい。

日向　少なくとも用途を透明化して、値下げ交渉が可能な状況にしてほしいです。

――他にはありますか。

日向　BOX が減少傾向にあることも問題です。移転についての話し合いを建設的に行って、クラブ・サークルの利益が守られるようにしたいです。

森　予算の都合など、のむしかない部分は大きいですが、毅然と権利を要求していきたいですね。

えています。その半分は後継者不足が原因です。

日向文化系サークル連合委員長

――最後に、今後の意気込みを教えてください。

森　クラブ・サークルで大学を元気にしたいという想いがあります。そのためにクラブ・サークルの味方として活動していきます。

小川　BOX 移転や府市大統合などは、さっきも日向君が言いましたが、僕らからしたら 4 年で終わることなんですけど、今の僕たちが動くことによってまだ見ぬ市大生の 4 年が良いものになればいいなと思います。

日向　僕は四者協が中心になって、横のつながりを深めていけるようにしたいです。

吉田　私はとにかく楽しくしたいです！　私は仕事でもないクラブ・サークルなのにかっちりしたのが嫌いで、フレンドリーにしたいんです。何でも相談してほしいし、日常会話でもいいのでコミュニケーションをとりたいです。今年から始まった四者協の LINE を私が担当しているんですけど、沢山顔文字を使ったりして、親しみやすい四者協にしているつもりです。

小川　「フレンドリー四者」いいやん（笑）。

吉田　四者はカタカナで「フレンドリーヨンシャ」。

日向　ダサいな（笑）。でもダサい感じが親しみやすいなら嬉しいです。

森　クラブ・サークルの仲が良い大学にフレンドリーヨンシャがしていきます！

――ありがとうございました。

文責

中村伸二（Hijicho）

○四者連絡協議会連絡先

yonshakyo2018@gmail.com

○四者連絡協議会公式 Twitter

@yonshakyo

○四者連絡協議会公式 LINE

文化でつながる

日中芸術交流展開催

第4回日中大学学生芸術交流展 in 大阪が3月29日から 6 日間、北新地にあるみちまちスクエアきたで行われた。同イベントは、美術部青桃会が上海大学とともに芸術を通して文化を深め合うことを目的として行っている。また、大阪府立大学と神戸大学も参加した。

初日に本学田中記念館で開催式が行われた。NPO法人大阪府日中友好協会副理事長の江原さんは「日中平和友好条約の締結から 40 年という節目の年に、日本と中国の友好を深めることができて嬉しいです。力を貸してくださった方々に感謝しています」と語った。留学生の馬さんは、「この交流展の伝統を継承するため、部員は主体的に頑張っています。これからこのような人たちが日本と中国の文化交流を深める主体となってくれるでしょう」と話した。また、その後行われた懇親会には荒川学長も出席し、上海大学の留学生と英語で交流を行った。

開催式の様子＝本学田中記念館で３月29日、青桃会提供

実際に作品展示が行われているみちまちスクエアには、絵画だけではなく書道やスーツアートなども展示された。文化の違いがうかがえる作品があり、真剣に作品を鑑賞する人も見受けられた。

展示会の様子＝みちまちスクエアきたで３月30日、加藤菜々子撮影

文責

加藤菜々子(Hijicho)

９人の来客は多すぎです。（濱）

第２回「ボート部」

「クラブよ～いドン！」は市大で活動するクラブやサークルを取り上げていくコーナーです。
「あなたのとなりのあの子が所属しているクラブを詳しく知ろう」をコンセプトにしています。

本学で伝統のあるクラブ、ボート部。ボート競技とはボートをオールで漕ぎ、タイムを競う。レガッタは競技大会という意味。様々な種目があるがおおまかに分けると、大きなオールを１人１本持つスウィープ種目、小さなオールを１人２本持つスカル種目の２つがある。圧倒的な強さを誇るボート部の魅力を探るべく、主将である安東秀人さん（工・４年）にお話を伺った。

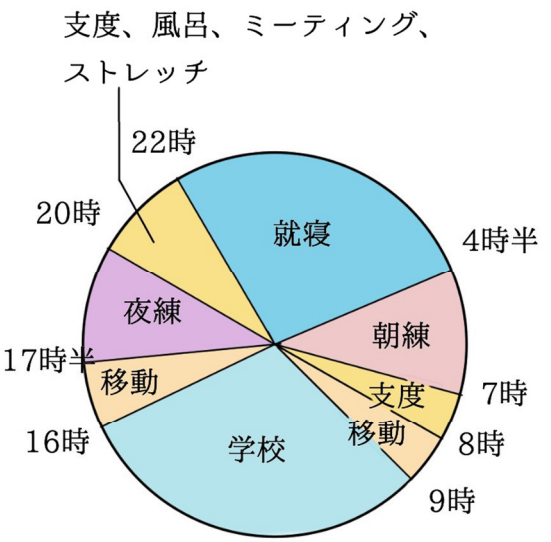
ボートを漕ぐ様子＝ボート部提供

――普段はどんな練習をしていますか。

季節によって違いますね。春、夏は主に複数人で舟に乗って漕ぐクルー練習をします。それから、いかに体重を落とさずに動ける身体をつくれるかが重要なので、週２回はウェイトトレーニングがあります。10月から３月はオフシーズンで、ウェイトトレーニングに加え、基礎体力を上げるトレーニングや有酸素トレーニングをしています。

――天候が悪いときも練習があるのですか。

雨が降っていても気合いで漕ぎます。ですが、風が強すぎたり波が高いときは控えます。ボートを後ろ向きに漕ぐので、見えない世界に進む危険なスポーツです。練習コースのマップや安全チームをつくるなど、安全面にはすごく気をつかっています。それに、冬の朝は水が凍るほど寒いです。オールを漕ぐのに慣れていなかったころ、後ろに乗っていた先輩に水をたくさんかけてしまい、凍らせてしまったことがあります（笑）。



ボート部員の一日

――なぜボート部に入ったのですか。

最初は他のクラブに入るつもりでした。しかし、友人がボート部に入ると聞き、どんなクラブなのか興味がわきました。新歓でボートを初めて漕がせてもらったのですが、水面を滑る感覚が非常に気持ち良かったんです。こんなことは大学のうちにしかできないと思い、その場で入部しました。

――ボート部の魅力を教えてください。

入ったときに思ったのは先輩の人柄が良かったことですかね。全日本大学選手権でエイトで優勝するという目標を成し遂げたい、という熱い気持ちが感じられ、このような先輩と出会えたことは僕のなかでは衝撃的でした。

あと、桜ノ宮で寮生活しているので、部員とずっと生活を共にしています。それによって家族以上の家族のような、大学の友達とは少し違う関係を築けたっていうことも良かったところですね。家族のような仲間がいるからこそ困難を乗り越えられるとか、そういうところが好きなんです。マネージャーも僕らを勝たせようという思いで一人一人が主体的に動いてくれます。そういう姿を見ていると、自分たちも頑張らなあかんなって。そんな風にお互いを刺激しあえる良い組織だな、と今になって思います。

――桜ノ宮で共同生活をしているとありましたが、部員全員が泊まり込みしているのですか。

選手やトレーナーは全員泊まっています。マネージャーは交代制です。ずっと泊まり込みというわけでなく、週 2 などで帰る人もいますね。また、朝食と夕食はマネージャーが栄養計算して作ってくれます。4 年間ほぼマネージャーのご飯ですから、マネージャーが僕らの身体を作ってくれたようなものです。

――5 月 19、20 日にボート祭が開催されますね。ボート祭に向けてひとことお願いします。

ボートはマイナースポーツなので、知ってもらえるいいイベントだと思っています。あと大学でボート祭みたいにスポーツに取り組める大きなイベントって無いじゃないですか。ボート祭を通じて学内が盛り上がってくれたらいいですね。参加してくれるサークルや団体が増えればもっと面白くなると思うので、今後もたくさんの人に参加してほしいです。

――ボート祭に出る方にメッセージをお願いします。

前の人に合わせるというのが重要です。これが一番速い。それからオールの動きを自分で確認しながら丁寧に漕ぐことですね。上手になれば力一杯漕ぐことは必要ですが、ボート祭レベルだと動きを合わせるだけで十分です。

第 127 回ボート祭
開催日　5 月 19、20 日
場所　桜ノ宮大川下流大阪市立大学ボート部艇庫前
申し込み　5 月 6 日まで
HP　https://ocuboatfesta.wixsite.com/127th
メール　boatfesta127@gmail.com

漕手　進行方向に対して後ろ向きに乗り、ボートをオールで漕ぐ選手。

舵手　進行方向に対して前向きで乗り、舵をとる選手。コックスともいう。

エイト　漕手 8 人と舵手 1 人から成る。スウィープ種目。

フォア、クォドルプル　漕手は 4 人、舵手ありとなしがある。フォアはスウィープ種目、クォドルプルはスカル種目。

ペア、ダブルスカル　漕手は 2 人。ペアは舵手ありとなしがあり、スウィープ種目である。ダブルスカルは舵手なしで、スカル種目。

シングルスカル　漕手が 1 人、舵手なし。スカル種目。

最近の戦績
第 71 回市長杯大阪シティレガッタ
男子舵手付きフォア優勝

第 28 回加古川レガッタ
女子ダブルスカル優勝　男子シングルスカル第 2 位
男子ダブルスカル第 2 位

文責
谷口結梨果（Hijicho）

Hijicho
大阪市立大学新聞

2018年5月
第58号

競技ダンス部のステージ=4月21日、中村伸二撮影

ふたば祭を振り返ろう！フォトレポート …p.2、p.11

ニュース・コラム

■ いつかの「もしも」に備えよう！
商学部ゼミ制作防災袋「AirPost」 …3
■ マダム鳥子のピーチクパーチクうるさいわね！
■ 私たち「フレンドリーヨンシャ」
四者連絡協議会に迫る …5
■ 文化でつながる　日中芸術交流展 …8
■ クラブよ～いドン！「ボート部」 …9

読者投稿コーナー・漫画

■ 四コマ漫画 「それゆけひじちょうさん」
■ 市大川柳
■ 大喜利コーナー ICHIDAIグランプリ
…12

市大川柳

https://goo.gl/ldrrjF

大阪市立大学新聞 Hijichoは、市大や市大生の生活に関する川柳を募集しています。賞の選考を毎月行い、紙面（ウェブ版なども含む）で発表します。今回も多くの作品をご応募いただきました。ありがとうございました。

金賞

まだいけるフル単すればまだいける

留年戦士

焦燥が伝わってくる力作ですね。

銀賞

春うらら二度寝し一限飛ばしがち

アムロツヨシ

一限を制するものは大学を制す、ですよ。

銅賞

ぼっちだし始めようかなユーチューブ

ぼっち

有名になったら是非取材させてくださいね。

次号も皆さまからの川柳を掲載します。ページ上のQRコードからご応募ください。締め切りは5月14日です。

大喜利コーナー ICHIDAIグランプリ

お題「市大に新しいサークルができた。どんなの？」

金賞
天王寺1分乗り換えの会（I love 阪和線）

銀賞
撤去された自転車をこっそり元の位置に戻してあげるサークル（ヤバイ教科書屋さん）

銅賞
JR遅延計測サークル 「普通も止まらない」（最遅CAマンダ）

http://qq4q.biz/G8pr http://qq4q.biz/G8pr

http://qq4q.biz/G8po http://qq4q.biz/G8po

6月号のお題（5月14日締め切り）は「1限の授業に誰も来なかった。どうして？」です。回答は上側、お題は下側のQRコードからご投稿ください。

発行所 ©大阪市立大学新聞
〒558-8585 大阪市住吉区杉本3-3-138 大阪市立大学杉本キャンパス旧教養地区 共通研究棟121号室
hijicho@gmail.com http://hijicho.com/